

令和5年度東三河広域連合介護保険事業運営委員会(第1回)

日 時	令和5年6月22日(木) 13:30～14:30
場 所	豊橋市職員会館 2階 201会議室
出席者	委員 14名、事務局 9名、傍聴 0名、その他 0名

1 議題

- (1)令和5年度介護保険事業運営委員会の開催予定について
- (2)第9期介護保険事業計画策定関係
 - ①東三河地域の課題整理と基本理念(案)について
 - ②第8期事業計画の成果と課題について
 - ③介護保険施設等待機者調査の結果について

2 その他

1 議題

(1)について事務局から説明

【質疑応答】

意見なし

(2)①について事務局から説明

【質疑応答】

委員 【資料2-1】Ⅲの○上から4つ目について。
「1年以内に入所の必要性が高い要介護3以上の在宅待機者は、東三河全体で255人」とあるが、この根拠は。

事務局 この後議題(2)③待機者調査の結果にて報告する。

委員 【資料2-1】「Ⅱ 医療・介護連携」の部分について。
医療と介護の連携は災害時の為に必要だと思う。6月2日に大雨の被害もあったが、あの日学んだことや課題の追加の必要性はないか。

事務局 資料を作成したのは災害前ではあるが、今後策定を進めていく中で必要があれば追加を検討していく。

委員 認知症基本法が成立したが、その関係は入れなくても良いのか。
【資料2-1】基本施策2-2「認知症施策の推進」に係るのではないか。

事務局 資料の現段階ではそのあたりまで細かくは掲載していない。
一度確認し掲載について検討する。

委員 【資料2-1】「分野ごとの地域課題」の欄。
『課題』なので、問題となったことが掲載されるものと自分は認識した。今はすべて「～する必要がある。」と記載されているが、例えば一つ目の○なら「～地域における就労的活動の場や機会がない」というのが課題なのではないか。
すべて「～する必要がある。」というまとめに揃えるのであればそれでもいいが、少し『地域課題』という書き方との違和感を感じた。
内容は合っていると思うが、表現方法かなど。『課題』であれば「こういうものがある」という表現になるのではないか。

事務局 ありがとうございます。現状は『課題』に対して「こういうふうにしたほうが良い」という書きぶりになっているという指摘については理解した。書きぶりについては一度検討させていただく。

(2)②について事務局から説明

【質疑応答】

委員 【資料3-3】「認知症高齢者等離設対策機器の導入支援」は、第9期は廃止になるということか。
【資料3-1】「認知症施策の推進」第9期の展開の部分にある「GPSの購入費用の助成」とは別のものか。

事務局 第8期に検討した結果、第9期では実施を見送るという結論になったということである。
「GPSの購入費用の助成」はまた別のものであり、こちらは継続して行う予定。
【資料3-3】の離設対策については、第8期当初、8市町村で統一的な離設対策ができないかということで検討が始まった。しかし、離設対策については国からも様々なメニューが展開されており、事業所ごとにその事業所にあった対策がとれるような制度が出来上がっている中で、広域連合が独自に限定的なメニューを作ってしまうと、それに縛られて逆にうまく利用できないこともあると考え、見送ったところである。

(2)③について事務局から説明

事務局 先ほど質問のあった「1年以内に入所の必要性が高い要介護3以上の在宅待機者は東三河全体で255人」の根拠について。
【資料4】2ページ②入所の可能性の表内の「1年程度で入所が必要となる見込み」の「(再掲)要介護3～5」の部分に316人とあるが、316人の中に255人の在宅待機者が含まれているものである。直接この資料に数字の記載はないが補足する。

【質疑応答】

委員 特別養護老人ホームの入所の必要性について、316人のうち在宅が255人の部分。「1年程度で入所が必要となる見込み」というのは、介護サービス側からすると「今は必要ないけど、1年経ったら入所したい」と聞こえる。待機者数も上段の「入所の必要性が高い」の258人も含めた、600人近くが待っていると捉えられる。先ほどの「在宅が255人」というのが果たして実態を表わしているのか。
また、サイクルも調査しているが、例えば特養を見ても、1年で1,000人を超える方が出ている。つまり、1,000人を超える方が入所していると捉える。加えて1,800人が待っている。つまり、1年間で合計2,800人の申込があったと捉えられる。
そのあたりの数字の感覚と「255人」の感覚と、待機者数の捉え方の感覚が、現場とズレているのではないか。「1年間で入所を待っているのは255人」と思われたいか。

事務局 ご意見参考にさせていただきながら、できるだけ実の待機者となるよう検討していく。

委員 待機者数について、市町村ごとの調査結果も掲載しているが、人数だけ出すと南部と北部でも全然違うし、市町村でも違うと思う。実態として、山間部の方たちは「在宅サービスを使いたくても在宅サービス自体が無いから施設に申し込む」。逆に豊橋の方はもう少し在宅サービスが充実しているので「施設に入れなくても在宅サービスの利用でなんとかできているから待機者が少なくて済む」という事例もあると思うので、市町村別の待機率を出すなどした方が実態として把握できるのではないか。

事務局 もちろん、この後市町村別で細かく見ていくことはしていく。ご意見の通り、山間部と南部では条件が違い、山間部の方は在宅で過ごしたくてもなかなかできないから施設入所が多い、という事例もあると考えられるので、市町村ごとに見て、そういった状況を加味して検討していく。

- 委員 【資料4】3ページ「介護付き有料老人ホーム」の「ア うち東三河広域連合の被保険者」の内、市町村別在住者数の表について。
普通は人口の多い順に数が多いのかと思うが、この部分については、豊川市が68と一番多いが何か原因があるのか。
- 事務局 施設の数が南部圏域に固まっているのもあると思うが…。詳細分析を行っている途中ではあるが、確かに豊川の空所率が少ないので、それが原因ではないか。
- 委員 人口の割合に比べかなり施設が少ないからではないか。介護付き有料老人ホームは豊川には3つしかない。
- 委員 なるほど。ありがとうございます。

【以上】